



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

令和元年度 研究主任研修会

令和元年9月12日（木）実施

対象：高知市立小・中・義務教育学校の研究主任

概要

学校教育目標の具現化を目指した校内研修の意義や校内研修体制の確立・校内研修の在り方について協議し、研究主任としての力量を高める。

【講義・演習】「全国学力・学習調査結果に基づく授業改善のポイント」

—調査結果の見方・考え方で授業が変わる—

講師：筑紫野市教育委員会学校教育課 磯部 年晃 主任指導主事



自校における学力調査分析研修の充実・改善 「スキーマ(学習構造)の調整」から「再構造化」による授業改善へレベルアップしよう

I 目指す方向性を再確認！（新学習指導要領、学力調査）

- Society5.0時代の教育を展望することで、授業改善の方向性を見出す
- AIに取って代わられない人間の強みを伸ばす
- 子どもの「学び」を視点とした指導改善の必要性（学んだことをどう使うか）

学力調査の分析

正解か否かのための分析



誤答の分析（自校の弱点を把握）
「どこ」をみて考察したのか
「なぜ」そう処理したのか

「スキーマ（学習構造）の調整」「スキーマ（学習構造）の再構造化・創造」

小手先の指導改善

本格的な指導改善

II 調査結果分析の改善！（算数・数学の分析を例に）

- 授業の検証改善の視点を明確にした調査結果分析
 - ・ 見方・考え方を働かせることの実現状況から授業改善へ
 - ・ 領域の趣旨・ねらいの実現状況に基づく分析から授業改善へ
- 例：「面積」「角度」「体積」が「量と測定」領域から「図形」領域へ

学力調査を活用する価値

調査問題自体に価値がある

土台となる
基礎的な事項を
具体化した問題

教員による
指導改善

児童生徒の学習改善
学習意欲の向上

見方・考え方を働かせていることを顕在化させる授業

問1「だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るためには、何を調べればよいですか。」

→ 見通しを問う問題 小学校算数4(1)

問2「〇〇の式を書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。」

→ 考え方を問う問題 小学校算数4(2)

焦点化した問い

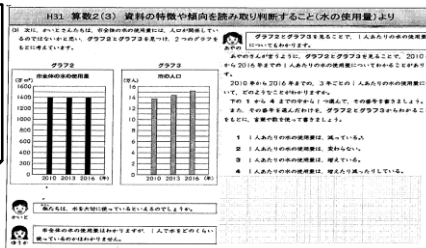
III +（プラス）の授業改善からの脱却：脱〇〇のススメ！

- 問いのアレンジからはじめる授業づくり！
（「調整」では、間に合わない状況設定から授業改善は加速する）
- 正答ではない児童生徒の反応からはじめる授業づくり！
（つまずきの克服に焦点化することで授業改善の手応えを実感する）

今、変えなければこの先10年間変わらない！

いつの間にか、授業に「お約束」「お作法」を設定し、抜け出せなくなっているのではないか？

・ 脱形式
・ 脱固定
・ 脱形骸



H31 算数2(3) 資料の特徴や傾向を読み取り判断すること(水の使用量)より

【受講者の感想】

- ・ AIが、正解を選択するために不正解の条件を見出しプログラミングしていくように、子どもたちの解も「なぜこの間違いをしたのか？」と考え、授業改善に役立てたい。特に、見方・考え方を鍛えるためには教師の発問が重要なので、全員を参加させる問い（ゆさぶり、逆質問、理由を問う）の質を学校全体で高めていきたい。
- ・ 誤答分析の方法の在り方について教科主任会、教科会などを通して各教科担当と共有し、校区の小学校とも課題の共有を行いたい。管理職とも連携し、業務の精選を行い、教員一人一人が、授業づくりに充てる時間の捻出に努めたい。

※ 文中の「学力調査」とは、「全国学力・学習状況調査」を意味する。

公開研究授業：1年3組 国語「のりもののことをしらべよう」 授業者 水野 恵子 教諭

船の動画でイメージを

導入に船の動画を用いることで、どの子も船のイメージをもつことができていた

映像と本文を行き来

動画だけに頼るのではなく、きちんと教科書に戻り読み取りができていた

その子なりの学び方
⇒全体での学び合い

一人一人に一文ずつ切った短冊を持たせることで、その子なりの学びができていた



助言者より

- 低学年は、考えを可視化するために具体物を操作しながら話させることが大切。

公開研究授業：3年3組 算数「はしたの大きさの表し方を考えよう」 授業者 山崎 拓 教諭

助言者より

- 導入では、 $\frac{1}{5}$ ではなく $\frac{1}{4}$ を使っていれば、 $\frac{3}{4}$ を考える時に使えた。
- 塗ってあるものを使うよりも子どもに塗らせたものから始めるとより主体的になった。

分科会での参加者の感想より

- 机間指導し、子どもの困り感に気づき全体で共有できていたのがよかった。



前にこんな勉強したの覚えてる？

あっ、そうやった！



公開研究授業：5年3組 算数「比べ方を考えよう(1)」 授業者 白石 大樹 教諭

助言者より

- 昼の場面では、人を動かせるようにして、混み具合を調べるには自由に動かしてもいいんだと理解させることが大切。

分科会での参加者の感想より

- 子どもの発言をつないだり、子どものよいところをフィードバックしていたことが、意欲にもつながっていた。
- 思考を可視化できることがICTのよさ。児童と児童を橋渡ししてくれるものでもある。効果的な使い方をしなくてはいけない。

どうして困っているんだと思う？

それは、うさぎの数と…



講演 「主体的・対話的で深い学びをめざす授業づくりとICTの活用」

前金沢星稜大学教授 佐藤 幸江 先生

「かかわる」「つながる」から深い学びへ



ICTのCはCommunicationのこと



ICT活用を組み入れた授業づくりの観点

☆ 学習形態 ⇔ 授業のねらい ⇔ 活用力

一斉学習
個別学習
協働学習



学習事象

調べる・考える・話す
表す・まとめる・伝える

思考力
判断力
表現力

- ☆ 対話・思考・表現に効果的に使えるようにする必要がある
- ☆ 活用方法が教師に求められている



主体的で対話的な学びの土台づくり 一人は関わり合う中で成長する

- ☆ 人間関係志向集団＝なかよし集団⇒課題解決志向集団＝高め合う集団
- ☆ 豊かで多様な経験⇒教師から価値づけ、賞賛⇒学び合う価値への共感
- ☆ 課題依存型の主体的学習⇒自己調整型の主体的学習⇒人生型の主体的学習
- ☆ 21世紀型コミュニケーション力

①対話 ②交流（協調レベル）⇒ ③討論 ④説得・納得（主張的レベル）



ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。